

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月5日(17:00~19:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	西村・畑村・岡本・国徳・前島・平田・福島・肥塚

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		10人	9人		19人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の情報収集に力を入れたいが、来期もマンパワー不足が続くと思われるので、利用開始してからの情報収集の充実に力を入れる事にする。情報記入の専用の書式があるので、上手く活用し、情報の収集と共有を行っていく。 ・利用者の担当者は、開始前には決まっているので、担当者が中心となって、管理者、CMの協力の元、集まった情報をまとめ、記載を行い、その情報を伝えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報記入の専用の書式に関しては活用出来ているときと出来ていないときがまちまちで、上手く活用出来ていたとは言えない。 ・利用開始前に担当者が決まっていなかった。また、担当者が中心となって利用者の情報収集をしていくのは勤務の都合などもあり、限界があった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		13人	6人		19人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		18人	1人		19人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4人	15人			19人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		13人	6人		19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用を開始してからの情報収集は実際にその利用者を観察していくことで良く出来たと思う。 ・サービスを開始してからは柔軟な対応で、通いや訪問、また、泊りを組み合わせながら、早く慣れて頂けるように支援出来ている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に情報やニーズについて共有することは、ある程度なら可能だがケアマネ以外の職員は本人に会ったこともない職員が殆どで、活発な情報共有は行えていない。 ・家族との関係作りに関してはコロナウイルス感染症の影響もあり、積極的な関係作りは出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・従来は担当者を決めて、その担当者が中心となって情報を伝達していたが、初期支援においては限界もある為、その日のリーダーを始め、関わりを持った職員が情報収集を行い、それを伝達していく。 ・ある程度、利用が開始した後、担当者が中心となり、色々な情報をまとめ、それを伝達していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月5日（17:00～19:00）
------------------	-----	------------------------

2. 「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	西村・畑村・岡本・国徳・前島・平田・福島・肥塚
---------------------------	------	-------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		4人	12人	3人	19人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 気づきノートは、書式を変えて、生い立ち、趣味、嗜好などが分かりやすい形式になっている。記入を進めていけば、利用者の方との関りに、有益な情報となる。まとまった記入時間が取れないので、メモ書き程度の物を付箋に記入し、貼っておくようしていく。後に（半年ごと）、それをまとめ記入する様にする。レクリエーション中に、利用者本人に、記入してもらおう事も行っていくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 気づきノートを活用する際に、メモ書き程度の物を付箋に記入し、貼っていたが、それをまとめることができなく、活用できているとは言えない状況であった。 日常の業務に追われ、利用者とのコミュニケーションをとる時間も少なく、情報を把握することもあまりできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		6人	12人	1人	19人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		9人	9人	1人	19人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		7人	11人	1人	19人
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		10人	8人	1人	19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の情報は積極的に得られるよう努力した。 ミーティング等を通じ、利用者の情報を共有できるよう努めている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ということもあり、利用者の情報を得る事には限界もあった。 気づきノートの活用があまりできていなかった。 家族や地域の方から本人に対する情報を得る事が難しかった。 	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の誕生日のイベントの日などに、その方の情報を気づきノートに記載し、情報共有していく。 ミーティングの時に気づきノートについて話し合いをする機会を設け、そこで意見交換を行い、気づきノートを作成していく。カンファレンスでも共有していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月5日（17:00～19:00）
------------------	-----	------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	西村・畑村・岡本・国徳・前島・平田・福島・肥塚
------------	------	-------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		14人	5人		19人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達には、連絡ノートへの記入が、一番確実だとは思う。時間が経ってからの確認は、検索が出来ないので時間が掛かるのが難点である。職員が、行う業務については、次週分までは出ているので、各職員が予習を行い、当日に慌てなくて済むようにしていく。 ・新規利用の方や、問題の多い方に意識が行きがち。目立たない利用者の方でも、小さな変化を見落とさない様に担当者を中心に関わっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の業務もあり、予習を行うゆとりもなく業務に入ることが多かった。伝達ノートの記載についてはある程度記入し、情報共有が行っていた。 ・日常的なことにおいて、担当の職員が関わっていくことは、勤務の都合などもあり、限界があった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3人	13人	3人	19人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1人	18人			19人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7人	10人	2人	19人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	18人			19人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	1人	14人	4人		19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・伝達ノートや申し送り等を通じ、情報共有はある程度行っていた。 ・レクリエーションの時などに、積極的に利用者とは話をすることで、ある程度本人の想いを聞き取れていた。 ・体調変化等があった際は状況に応じてその情報を他の職員と共有し、必要であれば急な訪問や通い、泊りサービスを臨機応変に利用していた。 ・利用者の状態に変化が生じた場合は、その都度ミーティング等を通じ話し合いを行った上でその利用者に対するケアを確立していく。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自宅での生活環境を十分に把握できていない事がある。日々の業務に追われ、その辺を把握するだけの余裕などが無い。時間が作れない事が多い。 ・本人の本当の想いに寄り添えていないことがある。日々の業務に追われ、ゆっくりと利用者とは係ることができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担表はこれまで通り前の週までに作成するので、各職員が自身の担当の業務を十分に把握しリアルタイムな情報を得て、業務を遂行する。それにより、個々の利用者とその都度、質の高いケアを提供できるよう心掛ける。 ・新規利用者を含め、利用者日々の変化は分担の職員が、その時々利用者の状況をしっかりと把握し、気づきや注意点などあれば申し送りやミーティングを通して、担当職員が中心となり、情報をまとめ、ケアを統一していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月5日（17:00～19:00）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 西村・畑村・岡本・国徳・前島・平田・福島・肥塚

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		5人	14人		19人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・利用者の方の情報は、レクリエーション中や入浴時などでの収集は、上手くいっているの、本年度も継続していく。後は、その情報を、いかにして記録に残していくかが課題である。2. の項目でも記入した通り付箋を利用し、記入を促進していく。後に、その記入を整理していく形式で行うようにする。・状況次第であるが、地域との関りは、可能な限り保つようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・付箋を使用しての情報収集はあまり出来ていなかった。付箋を使用しなくても日々の情報に関してはある程度収集できていたと思う。それを共有することもある程度できていたと思う。・地域との関わりに関しては昨年度以上にコロナウイルスの関係もあり、悪化した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		16人	3人		19人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		12人	7人		19人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		9人	9人	1人	19人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3人	16人		19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・日常的な情報に関しては対応している職員がその都度情報を獲得し、情報共有出来ている。また、本人との話などを通じて、どのように過ごしているかなどを把握している。・利用者の現在の生活スタイル等は日々の業務を通じて把握することができている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・これまでの生活スタイルや人間関係等は情報が限られていることやコロナ禍で外部からの情報収集が十分に行えないことで、出来ていないことが多い。・民生委員や地域の資源についても、外部との交流が限られている為、十分に把握できていないところが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・日々の日常的な情報ではなく、密な関りの中で得た情報に関してはこれまで通り付箋を使用し、書き留めておく。また、それを皆が共有できるよう定期的なミーティング等で話し合いをする場を設ける。・地域との関わりに関しては今年度は既に感染レベルを引き下げることができているので、早めに計画を立てながら感染対策を十分に行った上で地域との関わりを密にしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月5日（17:00～19:00）
------------------	-----	------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	西村・畑村・岡本・国徳・前島・平田・福島・肥塚
----------------	------	-------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		8人	6人	5人	19人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 来年度の環境がどうなっているかが分からないが、外出の機会を作るつもりであるし、ボランティアの方やなじみの訪問散髪、大きなイベントでの近所の方の呼び込みは行っていく。 可能な限り利用者本人の意向に沿った介護を行っていく。だからといって、本人の希望、要求通りにすると健康に害が出そうな場合でも、本人のいいなりになる訳ではない。その辺りのバランスはとっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染症の影響で外出の機会を作ることはほとんど出来なかった。昨年度以上、外出機会が減ってしまった。 本人の意向は確認しながら介護保険制度の中で出来ることと出来ないことを職員間の話し合いを通じ確率していくことが出来る程度できた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		4人	6人	9人	19人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1人	17人	1人		19人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		18人	1人		19人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人	17人			19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズはある程度把握できており、その都度状況に合わせ、急な泊りの対応や通いの対応なども行えた。また、小規模多機能のサービスが妥当でないと判断した場合は、他事業所のケアマネジャーと連携し、本人、家族と話し合いを通じ、サービスを選定した。 アセスメントシートを鵜呑みにせず、その時々本人の状態を確認しながら、その状態に合わせた対応をとることができた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの事業所だけで支えようとはしてはなかったが、コロナウイルス感染症の影響もあり、地域の資源やボランティアの方々の支援は受けられなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 先程と同様、今年度は感染レベルが引き下げられると言われている為、早めに計画を立て、外出機会を出来る限り増やしていきたい。感染対策は十分に行う必要がある。 本人の意向を再確認し、介護保険制度の中でできる事と出来ない事を再度把握し、その中で最大限に本人の為にできる事をしっかりと進めていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月13日(17:00~18:00)

6. 連携・協働

メンバー 西村・畑村・岡本・前島・次藤・藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		4人	6人	9人	19人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・コロナウイルスの感染状況次第であるが、地域の行事には参加していく。・グループ内の医療機関や他の事業所との連携は制限されることはないだろうから、連携を強化していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・昨年度よりも感染状況が悪化し、さらに地域行事には参加できなかった。・グループ内の医療機関や他事業所においてもコロナウイルス感染症の影響があり、新規の受け入れや見学、小規模登録の相談など、スムーズに勧めることが出来なかった事があった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		4人	3人	12人	19人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2人	3人	14人	19人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2人	2人	15人	19人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2人	2人	15人	19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・グループ内のケアマネ会議や事業所会議には参加できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・外部と交流のある会議等にはコロナ禍であることもあり、中々参加できていない。・地域との交流やイベント参加にも同様の理由から参加できていない。・登録者の家族は必要なことで来所されることはあるが、色々な方が事業所を訪れる事はできていない。反対に訪れることを極力禁止している。(コロナ禍の為)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・今年度は昨年度と同様、地域の行事にできる限り参加していき、地域と利用者をつなぐ役割を果たしていきたい。・グループ内の連携の強化だけでなく、外部の医療機関、事業所、ケアマネジャーとも連携を深めていき、利用者を支えて行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月13日(17:00~18:00)

7. 運営

メンバー 西村・畑村・岡本・前島・次藤・藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		4人	15人		19人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">各職員は、意見は持っているし、発言していない訳ではない。公の会議等の場では、意見が出にくいし、意見を出す職員の顔ぶれも決まっている。私的な場での意見交換を、その場だけでは終わらずに、職場全体の意見交換にしていく。出ている意見をミーティング時に議題にし話し合っていく。洗濯物の入れ間違いが、少なくない件数発生している。衣類やタオル類に記名がされていないものも多く、間違いの要因となっている。無記名なものに記名を進め、取り込み時のミスや、収納間違いなどを無くしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">色々な意見がある中で、各職員が自分の意見を会議等の場で発信しながらそれをまとめ、ケアを統一しながら業務を遂行することはある程度できていた。ミーティングでは日々の業務において改善事項等が多く意見としてあがり、職員全員で話し合いをしながら決めていくことができた。結果は様々であったが、職員がひとつの目標に向かい、まとまっていくことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		9人	10人		19人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	12人	6人		19人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6人	9人	4人	19人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2人	5人	12人	19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用者、家族からの苦情などについては他の職員と情報を共有し、話し合いをした上で対応を検討している。職員同士のやりとりや意見交換はミーティングや会議などを通し、行えた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">コロナ渦であることで、地域との関わりが薄く、意見を頂ける機会をあまり持てなかった。また、地域との交流を積極的にとることが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">各職員が自分の意見を発言できるような環境を整えるとともに、ミーティングや会議の場でスムーズに意見交換できるように事前に議題を検討し、ミーティング等を開催する。地域からの意見などはコロナ渦であることもあり、中々意見を頂くことが難しい状況もあるが、積極的に外部と交流を図っていくことで、色々な意見を頂ける環境を整える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月13日(17:00~18:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 西村・畑村・岡本・前島・次藤・藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	5人		19人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・転倒事故も発生したし、誤薬の件数も5件と多かった。転倒に関しては、不可効力の件もあったが、誤薬に関しては、職員が注意していれば起きていないものばかりである。大事に至っていないのが幸いで、次年度は誤薬に関しては発生させないようにミーティング時などに注意喚起をしていく。・外部研修の参加率が低いので、研修案内のファイルを目に入りやすい所に置き、管理者側からも、近隣で行われるものは、促すようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・誤薬に関しては年度初めに何件か発生したが、服薬の体制を整え、ダブルチェックを行ってからは誤薬は減少した。・コロナ渦であることもあり、外部の研修など、参加できるものが限られた。リモートでの研修の案内もあったが、そこまで多くなく、参加する職員も少なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人	9人	6人	3人	19人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	5人	5人	8人	19人
③ 地域連絡会に参加していますか		2人	2人	15人	19人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか		14人	3人	2人	19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・外部研修は参加している職員もいた。・誤薬など、事故報告書を元に、職員全員で対策を考え、改善することができた。・職場内の研修はできており、さらに本部から講師を招き、研修をしてもらうこともあった。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・インシデント報告書、ヒヤリハットの内容について十分に話し合いが行えていないことがある。・外部研修に参加できている職員は一部の職員で、あまり参加出来ていない現状がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・誤薬に関しては現在のやり方に変えてから、あまり誤薬が起きていないので、今まで通り継続していくが、油断があるので、再度初心に戻り取り組んでいく。・研修はコロナが落ち着いていくと推測されるので、積極的に参加していけるような環境づくりを進めていく。また、リモート研修などもあると思うので、本人が参加しやすいような研修などに参加してもらう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月13日(17:00~18:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 西村・畑村・岡本・前島・次藤・藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	11人	5人	2人	19人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">虐待の芽は、しっかりと摘んでおく。利用者の方に対しては、〇〇ちゃん(親しみを込めてということもあるが)とは呼びかけず、必ず〇〇さんと呼ぶようにしていく。職員間も、公の場では、〇〇さんと呼び合うようにする。歩行困難なのに、立ち上がりの危険性の高い利用者の方であっても、出来るだけプライバシーは守るようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">利用者への呼びかけはその時々での対応で利用者が満足できる形で行えた。利用者が距離が遠いと感じてしまう時は節度を十分に保ちながら利用者への対応をすることができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	10人	9人			19人
② 虐待は行われていない	14人	5人			19人
③ プライバシーが守られている	1人	15人	3人		19人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1人	14人	2人	2人	19人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	2人	16人	1人	1人	19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">身体拘束は行われていない。虐待も行われていない。成年後見制度について、必要であれば活用するように促す事は可能であると思う。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">政権後見制度については、政権後見制度を利用するような利用者がいなかった。個人情報を守られていると思うが、カルテなど利用者に関する情報が入ったものがダイルームにおいてあるので、利用者などが開いてしまう恐れがある。トイレがいっぱいのときに利用者に対し「待って」とスピーチロックしてしまう場面がある。同じく転倒リスクの高い利用者が急に立ち上がった時に同じように対応してしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">利用者のトイレなど集中し、利用者が待てなかったりすることもあるが、できる限り本人が待たなくていように時間をずらすなどの工夫をしていく。虐待のチェックリストを用い、普段から虐待に繋がらないように自己の振り返りを行える環境を整える。	